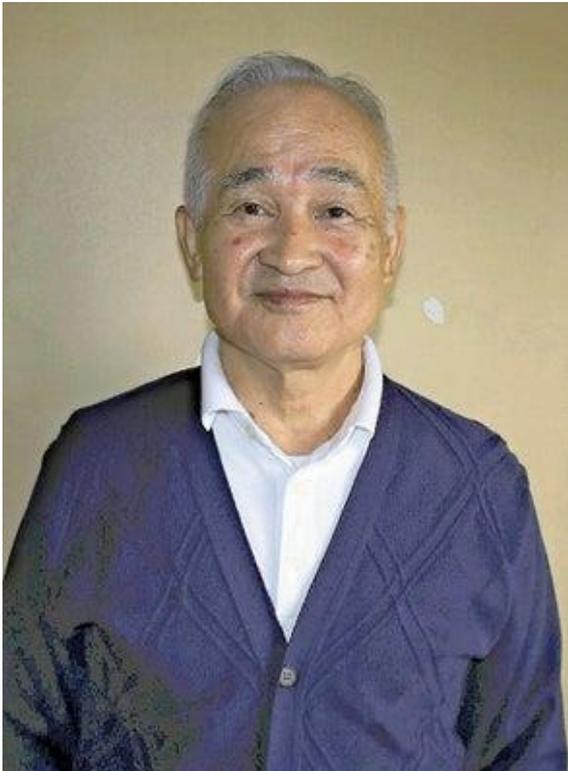


【 瑞宝単光章 】

組紐製造業 松山好成さん(名張市)



松山好成さん(名張市で)

くみひも
1971年から組紐業に従事して半世紀余り。帯締め制作で、伝統工芸品「伊賀くみひも」の名声を高めてきた。「長年やってきたことを評価いただき、非常に喜んでいる」と顔をほころばせる。

会社員を経て、24歳頃に家業を継いで職人となり、1996年に伊賀くみひもの伝統工芸士に認定された。ちみつ
緻密で新鮮な意匠の作品は注目を集め、日本伝統工芸展での入選は20回を超える。今年と同展で日本工芸会会長賞を受賞した。

自ら染めた草木染の糸を使い、今も1日6～8時間、組紐台に向かう。「感性で作っている。人にできない組み方を考え、新しく作っていくことが楽しくて面白い」

現在は伊賀くみひも伝統工芸士会会長も務める。「いかに長く仕事を続けるかを心掛け、いい作品を送り出していきたい」。受章を機にさらに意欲を燃やす。